

- 問1 奈良時代に、中国（唐）から日本へ招かれて仏教の教えを伝えた僧侶はだれでしょう。
- 問2 604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりは何ですか。
- 問3 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。
- 問4 古墳時代とは、どのような時代ですか。
- 問5 藤原氏が栄えたころに、都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を何といいますか。
- 問6 645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めた政治の改革を何といいますか。
- 問7 奈良時代の役所や遺跡からたくさん見つかった、荷物につけられた「木の札」のことを何といいますか。
- 問8 縄文土器と比べて薄くて硬いという特徴があり、弥生時代に使われるようになった土器は何ですか。
- 問9 須恵器をつくるときに使われた、新しい製法の設備は何ですか。
- 問10 聖徳太子が仏教を信仰し、国を平和にしようとして奈良県に建てた、世界最古の木造建築物がある寺はどこですか。
- 問11 聖武天皇が、全国の国ごとに「国分寺」を建てるよう命じた一番の目的は何ですか。
- 問12 奈良時代に、聖武天皇の命令によって「国ごとに建設」されることになった寺院の名前は何か。
- 問13 寝殿造は、どのような人たちが住んだ大きなやしきの建築様式ですか。
- 問14 平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰した、広島県廿日市市にある世界遺産に登録されている神社はどこですか。
- 問15 打製石器が使われていたのは、何という時代ですか。
- 問16 鑑真が命がけで日本にきた目的は、主に何をするためだったのでしょうか。
- 問17 武士団の中でも特に強い勢力を持ち、朝廷の命令で地方の反乱をしずめるなどして重く用いられた二つの大きな勢力をまとめて何と呼びますか。
- 問18 平安時代に、貴族が住んだ大きなやしきの建築様式を何といいますか。
- 問19 4世紀ごろ、奈良盆地を中心とする大和地方の豪族たちが連合してつくった、強大な力をもつ国のことを何といいますか。
- 問20 かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物はだれですか。
- 問21 古墳時代に、大和朝廷を率いていた王のことを何とよびますか。
- 問22 聖武天皇が東大寺に巨大な大仏をまつた、一番の目的は何だと考えられますか。
- 問23 奈良時代は、平城京に都がつくられてから都が京都に移されるまで、およそ何年間続いた時代ですか。